

**「結婚希望者が安心して婚活できる結婚相手紹介とはどういうものだろうか？」
「理想の仲人とはどういう人物だろうか？」・・・**

それが「仲人資格制度」発足のスタートでした。

そこで、NPO 法人（内閣府認証）全国結婚相談業教育センターでは、次の3本柱を厳守し運営している結婚相手紹介の仲人たちを、選別し支援するため、独自の「資格認定制度」を立ち上げることにいたしました。



- ① 入会時に受取る合計金額が5万円を超えないという、結婚希望者にとって安心できる**成功報酬制の料金システムで運営していること。**
- ② 個人情報保護法・特定商取引法・消費者契約法などの**法令に対する知識を持ち、遵守していること。**
- ③ お見合い会員に対して親切・丁寧な対応をすることは言うまでもないことだが、お見合いを申込んだ相手から**受諾が来るような釣り合う相手を指導し、時には厳しいことを言うこと**も心がけていること。

これが「仲人資格」です。

結婚相手紹介のプロである、結婚相談所や結婚情報センターと言われているところの、「成婚率」が、10%を超えるところを、私の知る限り聞いたことはありません。

この原因がどこにあるのかを考えてみました。

第一に思うのは、入会時に受け取る料金が、十万単位の高額であるため、入会希望者に対してお客様扱いになり、お見合いを申込み相手の条件が高望みになりがちだということです。

男性の場合、大学を出て年収も400～500万円以上で身長も170cm以上あれば、まずお見合いは組めますが、その条件を外すと女性はなかなかお見合いをOKしてくれないという現実、逆に女性の場合は、学歴やキャリアがあるにもかかわらず、持参された写真が男性受けしないと、男性は条件よりも写真（容姿）を優先するため、希望する男性からのお見合いのOKがとり難いという現実をしっかりと説明せずに入会してもらうから、希望の相手と結婚どころか

お見合せも組めないことになり、後で苦情になるという構図です。

お見合せ組めれば、いろいろなタイプの相手と会っているうちに、価値観の合う方や将来設計の合う方など、ぴったりの方と出会う可能性が広がっていくのです。

“幸せな結婚をしてもらいたい”というこの一点で、「仲人」は時には厳しいことを言うこともあります。お見合い会員のあなたも、相手に希望を出すばかりでなく、自分は相手に何をしてあげられるかを考えることも大切なことです。

それが嫌な方は、お客様扱いをしてくれる結婚相談所に行かれたらいいと思います。

なお、理事長の推薦するカリスマ仲人 100 人は、全員一生懸命お世話しますが、相性が合わないで仲人の真意が伝わらない場合もあるかもしれません。そんな時は、メールで相談してもらえば内容によっては担当を変えることも可能です。

今回は、全員同じ料金ですので、担当の変更で入会金を再度支払うなどの不都合は生じません。



全国結婚相談業教育センターは、“そろそろ結婚したい”と願うあなたを全面的に応援します！

理事長 中西圭司